

《報告》

経営史学会第3回大会

安岡重明

本年度の経営史学会は、11月19日（日）、および20日（月）の2日間、早稲田大学社会科学系大学院校舎において行なわれた。

両日のスケジュールはつぎのとおりであった。なお、来年の会場校は大阪大学経済学部ときまった。

第1日 11月19日（日）

(I) 自由論題報告報告（40分・討論10分）

第一会場（日本の部）

(I) 午前（9.30～12.00）

- | | | |
|--|--------|-------|
| 1. わが国造船業における技術と経営 | 中央大学 | 高柳 暁 |
| 2. 戦後におけるカメラ工業の展開と成長企業 | 中央大学 | 池田 正孝 |
| 3. 都市交通企業の「赤字」の実態とその経営史的考察
—大阪を中心に— | 大阪産業大学 | 中瀬 寿一 |

(II) 午後（13.30～17.10）

- | | | |
|---|--------|-------|
| 4. 産業資本確立期におけるわが国企業の資金調達について | 早稲田大学 | 市川 孝正 |
| 5. 後進国産業化の社会的条件
—明治日本とタイの比較を手がかりにして— | 東京大学 | 富永 健一 |
| —休憩（20分）— | | |
| 6. 明治末期以降における大型定置網漁業の展開とその経営者の社会的性格
—能登と佐渡の場合— | 東京教育大学 | 中野 卓 |
| 7. 心学の経営理念 | 近畿大学 | 竹中 靖一 |

第二会場（外国の部）

(I) 午前（9.30～12.00）

- | | | |
|--------------------|--------|-------|
| 1. 17世紀ボストン商人の会計帳簿 | 明治大学 | 田村 光三 |
| 2. 米国自動車産業経営史の一断面 | 富山大学 | 下川 浩一 |
| 3. 世界企業における管理機構の展開 | 横浜国立大学 | 衣笠 洋輔 |

(I) 午後 (13.30~17.10)

4. 1920年代の米国公益企業における持株会社制度の役割
東京大学 西川 純子
5. 生産管理と作業分析の歴史的形成過程について
大阪市立大学 橋 博
- 休憩 (20分) ——
6. カール・ツェイス財団とその現況
——オーバコッヘンの事例—— 神戸商科大学 粟田 真造
7. ペニーの経営精神と発展過程 神戸大学 平井 泰太郎

(II) 懇親会 (17.30~19.30)

会場 早稲田大学「大隈会館」

第2日 11月20日 (月)

(I) 統一論題報告 (報告40分・コメント10分・質問提起5分)

「わが国近代企業定着期における経営的諸問題」

会場 第一会場

(I) 午前 (9.30~12.00)

- 問題提起 明治大学 山口 和雄
- 明治中期における製糸経営
一片倉と郡是一 報告者 東京大学 石井 寛治
コメンテーター 横浜国立大学 高村 直助
- 日本近代造船業確立期における三菱長崎造船所
報告者 広島大学 井上 洋一郎
コメンテーター 同志社大学 安岡 重明

(II) 午後 (13.30~17.00)

海上保険業の創業と確立

- 一東京海上の場合一 報告者 明治大学 由井 常彦
コメンテーター 大阪市立大学 伊牟田 敏充

商権回復過程における三井物産会社

- 報告者 専修大学 梶井 義雄
コメンテーター 東京大学 中川 敬一郎

——休憩 (10分) ——

- パネル・ディスカッション 司会 明治大学 山口 和雄

(II) 会員総会 (12.00~12.30)

会場 第一会場 (小野梓記念講堂)

共通論題報告は、近代産業の担い手となった代表的企業がどのような諸問題を処理して定着していったかの諸条件を、いくつかの事例を示しつつ、あきらかにしようとするものであった。問題提起者の山口和雄氏は、つぎの6点から問題に接近すると報告された。(ただし、すべての報告者が6点全部をそれぞれとりあげたわけではない。)

すなわち、日本産業は後進性を脱却するため、(1)技術の習得、技師・労働者の確保、(2)生産費の同等化・品質、(3)金融の問題(固定資本の調達・流動資本の調達)、(4)政府の奨励政策の問題、(5)一企業が他の企業とどのような関係に立ったか、(6)関税改正、などの諸問題が解決されなければならなかった。

例示すれば、(1)には外国の技術をそのままでは利用できないという問題を解決する必要ということも当然含まれる。たとえば、保険料率も外国のものをそのまま使えない事情を克服する必要がある。(3)には企業形態の問題がからんでいる。(4)は、造船奨励法、日銀・横浜正金銀行による製糸金融、海上保険の欠損に対する政府の補償など、(5)については、たとえば貿易が発展するためには造船業、海運業、保険業、金融業等の発達が必要な条件となる。

パネル・ディスカッションは、報告者が質問に答えるだけで、時間切れとなり、討論というところまでいかなかった。